

# 第 218 回（第 14 期第 11 回）日本知能情報ファジィ学会理事会 議事録

日時：2016 年 11 月 20 日（日）13:00～17:00

場所：慶應義塾大学 矢上キャンパス 26 棟 2 階 207 会議室

出席者（敬称略）：萩原（会長），林（副会長），片上（将来構想・他学会連携），金久保（会計），川本（会誌），橋山（大会事業），伴（賞選考・女性会員），星野（電子化検討：Skype 参加），三河（広報），井上（会計監事），堀口（事業）

欠席者（敬称略）：中川（副会長），彌富（庶務），徳丸（事業監事）

## 議題

### 1. 前回議事録の承認（資料 218-0）

- 異議なく承認された。

### 2. 学会 web について（資料 218-1: 三河）

- 株式会社 MOMO'S に学会ホームページの製作業務とホスティング業務を委託することが承認された。MOMO'S 社との契約手続きを進める。

### 3. 新会員管理・年会費収集システムについて

#### 1. しゅくみねっと社との契約手続きについて（資料 218-2-1: 星野）

- 会員管理・年会費収集システムの運用をしゅくみねっと社に委託することが承認された（ML 上にて承認済み 10/7）。
- 会員情報の移行作業はほぼ完了。システムのオープンを目処が立ち次第しゅくみねっと社と業務委託契約を結ぶ。

#### 2. 新システム移行に伴う、会員番号の整理について（資料 218-2-2: 星野）

- 現会員番号を新システムでの会員番号として引き継いで利用するにはシステムの改造が必要になり、改造のための時間と費用が新たに必要になる。会員管理自体は新システムで発行される番号で用が足りるため、現会員番号のデータは旧会員番号の項目を設けて残すだけに決定した。

#### 3. 業者からの導入事例紹介協力に応じるか（資料 218-2-3: 星野）

- 協力に応じることが承認された（ML 上にて承認済み）。

#### 4. システム移管に伴う ID/PASS の簡易書留での送付（資料 218-2-4: 星野）

- セキュリティに配慮しなければならない文書のため、新システムの ID とパスワード S の通知文書は配達の追跡が可能な簡易書留で送付することが承認された（ML にて承認済み 10/31-11/2）

### 4. 会誌掲載の広告について（資料 218-3: 川本）

- 学会誌に広告掲載を希望する申し出があり、この申し出を受けることが承認された。
- 広告料をいくらに設定するかなど、契約の詳細については会誌担当が案を作成し、メール審議に附すことになった。また、広告募集の方法についても検討を進める。

5. IFSA-SCIS 2017 での奨励賞について（資料なし: 林）
  - IFSA が主体であり，SCIS としては特例の会議であるため，IFSA-SCIS 2017 を本学会の奨励賞審査の対象学術講演会に含めないことが決定した。
6. IFSA-SCIA 2017 併設のサマースクールについて（資料 218-4: 林）
  - サマースクールを同年のファジィ学問塾に代わる事業として実施し，その開催に係る費用の一部（220,000 円程度）を学会が負担することが承認された（ML にて承認済み 9/17）。
7. IFCS 2017 後援について（資料 218-5：萩原）
  - 後援することを承認した（ML にて承認済み 10/25）。
8. あいまいなゲーム研究会 設置申請について（資料 218-6: 堀口）
  - 設置が承認された（ML にて承認済み 9/9）。
  - 活動期間は 2016/10/1～2018/3/31 の 1 年半。2016 年度の活動補助については，期中申請により対応する。
9. 横幹連合理事・監事候補者の推薦依頼（資料 218-7: 彌富）
  - 本学会からは推薦しないことが承認された。
10. その他
  1. 奨励賞について（報告事項 4b に付随した議論）
    - 多くの学生にとって奨励賞は発表したその年の内に授与された方が価値が高い。そのため，FSS での発表に対する審査が終わった次の理事会で受賞者を決定し，年内に賞を授与する方式への移行を検討することになった。FSS 2017 からの実施を目標とする。
    - 受賞通知は賞状の送付をもって行う。受賞者決定後はすみやかに会誌および学会 HP に受賞者一覧を掲示する。
    - 上記の移行には学会賞規程第 5 条の改定が必要なため，賞選考担当が改定案を作成することになった。
    - 奨励賞受賞者の招待ミニ講演を次年度の FSS で企画してはとの案が上がった。
  2. 電子化されていなかった過去の FSS 論文の電子ファイル（スキャンデータ）について
    - J-STAGE にアップロードしたいが，著作権の問題が懸念されるため，J-STAGE で公開してよいかどうかを学会誌で照会することにした。

## 報告

1. 会誌発行計画（資料 218-R1：川本）
  - 2017 年（Vol. 29）の会誌発行計画が報告された。
2. 出版社との業務委託契約書の締結について（資料なし: 川本）
  - 会誌出版業務の委託について富士技術出版との契約が締結された旨の報告があった。

### 3. LaTeX スタイルファイル・Word テンプレートの提供について（資料なし: 川本）

- スタイルファイルとテンプレートが公開された旨の報告があった。

### 4. 平成 28 年度第 1 回事業委員会（資料 218-R2: 堀口）

- 事業委員会（8/9 開催）での議論について下記 2 点の報告があった。
  - a. ファジィ学問塾に関して、学生にとっての参加の障壁を低くするために、現在の開催方式を改めてはどうかとの議論があった。発表者であれば自己負担がほぼゼロにできるという意味で、FSS の併催行事にすることが一案として上がった。
  - b. FSS での研究発表の審査に基づいて選出される奨励賞は、翌年の FSS において表彰されるよりも、発表したその年度内に授与された方が学生には価値がある（奨学金の免除申請など）。現在の授賞方式を改めてはとの議論があった。

### 5. 平成 28 年度拡大事業委員会（資料 218-R3: 堀口）

- 拡大事業委員会（9/1 開催）において、膨らんでいる支部の預貯金に対して上限を設け、余剰分を学会本部に戻すようにしてはとの議論があった旨の報告があった。
- この報告に対して、交付金の有効活用という意味で積極的に事業を実施してもらうことの方が大事なため、預金額の上限は特に設けないことを確認した。また、年度末書類（H29 年度の事業計画と予算案）の作成依頼の際に、学会本部のこのスタンスを支部に伝えることになった。

### 6. IFSA-SCIS 2017 での併催行事について（資料 218-R4: 堀口）

- SCIS 併催行事としてワークショップを開催する予定である旨の報告があった。

### 7. ファジィ学問塾について（資料 218-R5 : 堀口）

- 報告を省略。

### 8. FSS 2017, SCIS&ISIS 2018 の準備状況について（持込資料: 橋山）

- FSS 2017 について：10 月号に会告掲載，Web サイトはまだ。
- SCIS&ISIS 2018 について：実行委員会組織中。主だった役職が割り当てられた。

### 9. 2016 年度 6,7,8,9 月次決算（資料 217-R6 : 金久保）

- 報告を省略。

### 10. 会員数(8,9,10 月末)について（資料 217-R7 : 金久保）

- 報告を省略。

### 11. その他

1. 会計担当より、FSS 2017 の決算について概要報告があった。SCIS&ISIS 2016 についてはまだ会計が閉じられていない。

2. 将来構想・他学会連携担当より，他学会連携に関して，人間共生システム研究部会が6月27日に電子通信情報学会人工知能と知識処理研究会との合同研究会を開催した旨の報告があった。
3. 将来構想・他学会連携担当より，2014年と2015年に開催した将来構想フォーラムの報告記事を学会誌2017年2月号（特集名：ファジィ誕生から半世紀を超えて）を目標に執筆予定であることが報告された。

#### 次回理事会の開催について

- メール連絡にて調整する。1月下旬から3月の期間で調整。

以上